

■件名

チャイルドトレーラーの導入について（令和2年10月26日）

■手紙の内容

高齢者の自動車免許返納の流れや少子化のご時世、近頃町を歩いていて気になるのが自転車の前部と後部に巨大なかごを付けて走っている高齢者や若いお母さんの姿が増えたなという事です。

酒々井のような小規模な街では自転車の方が移動には合理的で自転車が増えることは自動車が増える事よりずっと健康的かつ環境にもいいと思いますが、あまりに重い荷物を載せて運ぶには自転車は不向きで、たびたびひやりとするような運転をしているものも見かけます。

自転車の場合、子供が落下したり高齢者が転倒したりすると取り返しのつかない怪我をする可能性も高く、特に高齢者の場合は一度の骨折がそのまま一生寝たきりに繋がる危険性も高いので、危険を放置することは医療費の増大にもつながる事が考えられます。

そこで酒々井町内の移動限定だけで構わないのでチャイルドトレーラーの導入に好都合な条例（チャイルドトレーラー牽引車が走れる道路や駐輪場の拡充または規制緩和や優遇措置、チャイルドトレーラー購入の補助金制度など）を作る事はできないでしょうか？

チャイルドトレーラーとはこういうものです。

道路交通法上、自転車専用路の少ない日本ではまだまだ使いつらいのが実情ですが、補助輪を付けているような状態になるので安定性も上がり怪我に繋がるような事故は起こりづらくなりますし、若い主婦にとってもふたり以上の子供がいても買い物など外出もしやすくなり少子化問題にも一役買う事が期待でき、かつ移動が増える事による町内消費の向上も見込めます。

また、子供が大きくなっても荷台や犬などペット用としても使えるので人生のあらゆる年齢層で使い続けられますし、電動自転車に接続すれば体力のない高齢者でも気楽に買い物など出かけたりしやすくなり体力の維持にも貢献できますし、社会とのつながりも維持できるので認知症予防にも役立つ上、重い荷物の持ち運びに対する制限もかなり軽減されるので酒々井のように町内での移動だけで日常生活が十分こなせる規模の自治体であれば免許自主返納に対するハードルも下げられるのではないかと思います。

以上、法律上など難しい事も多い提案かとは思いますが、町民の生活安全の向上、医療費削減、少子化対策、高齢ドライバー事故予防などの観点もご考慮の上、ぜひチャイルドトレーラーの町内導入の推進を前向きに検討して頂ければと思います。

■回答

町民の生活安全の向上、医療費削減、少子化対策、高齢ドライバー事故予防などへのご提言をくださり、このたびは誠にありがとうございます。

ご存知の通り、当町は面積19.01㎢と町自体がコンパクトであり、町民全体の6割以

上が町の中心部に、さらに9割以上が各鉄道駅から2 km圏内に居住する、歩いて暮らせるまちです。

ご提供いただきました内容は、具体性を持たせた貴重なご提案と受け止め、今後の町民福祉充実のための参考とさせていただきます。

担当課：総務課